

保険会社の 気候リスク

第1回: 保険会社に求められる 対応



気候リスクは、保険会社に対して新たな要求を生み出しています。その外部審査、企業価値、および財務への影響を背景に、保険会社はさまざまな部門で新たな課題への対応を迫られています。

このインフォグラフィック・シリーズの第1回目では、保険会社の重要な機能で求められる対応に焦点を当てます。



最高リスク管理責任者(CRO)と チーフ・アクチュアリー

リスクの特定、規制ストレステスト、
および資本

気候変動に関連するリスクの特定

資産ポートフォリオに対する気候リスク
の定量化

ORSAを用いたリスク評価の実施

ビジネス・ソルベンシーと資本に対す
る気候関連リスクのモニタリング

気候リスクに対するリスク低減措置の
実施

経済資本と規制資本における気候
リスクの測定

規制および内部要因

- ORSA(リスクとソルベンシーの自己評価): 内部およびソルベンシー II 基準
- ストレステスト: イングランド銀行のBES(隔年探索的シナリオ)、カナダ金融機関監督庁、ニューヨーク州金融サービス局、および全米保険監督官協会の動向

当社が提供する支援

- 物理的リスクと移行リスクの2021年ORSAへの統合と気候リスクによる財務的影響評価において、リスク管理責任者を支援



最高財務責任者(CFO)

規制報告と財務報告

規制報告と財務報告への気候リスク
の影響の記載

気候リスクによる影響を反映した事業
戦略に則した事業計画の策定と
モニタリング

規制および内部要因

- 英国の保険会社は、2020年および2023年にTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)報告書の提出が義務化
- 現行の事業計画への影響評価と潜在的な成長機会の特定

当社が提供する支援

- 気候リスクの事業計画への財務的影響の把握とTCFDの要求事項遵守の取り組みにおいて、財務責任者を支援



最高投資責任者(CIO)

アセットアロケーションと 銘柄選択

事業目標を実現する持続可能なグリーン投資戦略の策定

トップダウンおよびボトムアップのESG、
気候指標、およびKPIの設定

投資ポートフォリオの気候リスクの報告を可能にするため、戦略的アセットアロケーション(SAA)と投資銘柄の選択へのESG気候データの組み込み



- » 現在の投資ポートフォリオに対する影響評価
- » グリーン投資戦略と気候KPIの策定
- » ESGの投資プロセスへの統合
- » 開示要件(SFCR、TCFD等)
- 保険会社がポートフォリオとグリーン戦略をどのように合致させているかについて報告



当社が提供する支援

- » 現在の投資ポートフォリオに対する気候リスクの財務的影響を把握できるように、投資責任者を支援



最高経営責任者(CEO)と 取締役会

戦略とガバナンス

取締役会による気候関連のリスクと機会の監督および気候リスクから資産と株主を保護する信任義務の遂行

実際の/潜在的な気候リスクとビジネス機会を勘案した事業戦略の定義と実施



当社の一連の高度な気候リスク分析は、保険会社における気候変動の投資およびリスク管理上の意思決定への体系的な統合を支援します。詳細については下記よりお問い合わせください。

[お問い合わせ](#)

第2回も
どうぞご期待
ください。